

網膜の構造と機能の最新情報

—乳幼児から大人まで—

2016年4月9日(土) 7:45~8:45 第7会場 (仙台国際センター 3F 白檀 2)

座長

三宅 養三 先生

愛知医科大学理事長 / 名古屋大学名誉教授



座長のご挨拶

最近のOCTやERGの画期的進歩は、網膜の構造と機能の未知の側面を浮かび上がらせ、それにより診断学や病態の解釈に新しい息吹を吹き込んでいる。成人の疾患における構造と機能の両面からの解析は治療予後や治療成績の評価等にも益々今後重要になってくると思われる。一方乳幼児の網膜研究には未知の部分が多数ある。発生途上にある乳幼児網膜では成人とは異なる要素、たとえば可塑的要素や発生学的要素等、を理解しながら解析していく必要がある。他覚的所見の分析となるから乳幼児でも正確な評価が可能である。乳幼児から黄斑部局所ERGやOCTが正確に記録されるようなことは以前では夢の夢であった。

本セミナーでは、この分野の第一人者であるお二人の先生に最近の進歩につきお話いただく。



講演 1

網膜のイメージングと機能研究の展望**近藤 峰生** 先生

三重大学大学院医学系研究科臨床医学系講座眼科学 教授



講演 2

小児眼底疾患の構造と機能の検査による病態の理解**東 範行** 先生

国立成育医療研究センター 眼科医長・視覚科学研究室 室長

